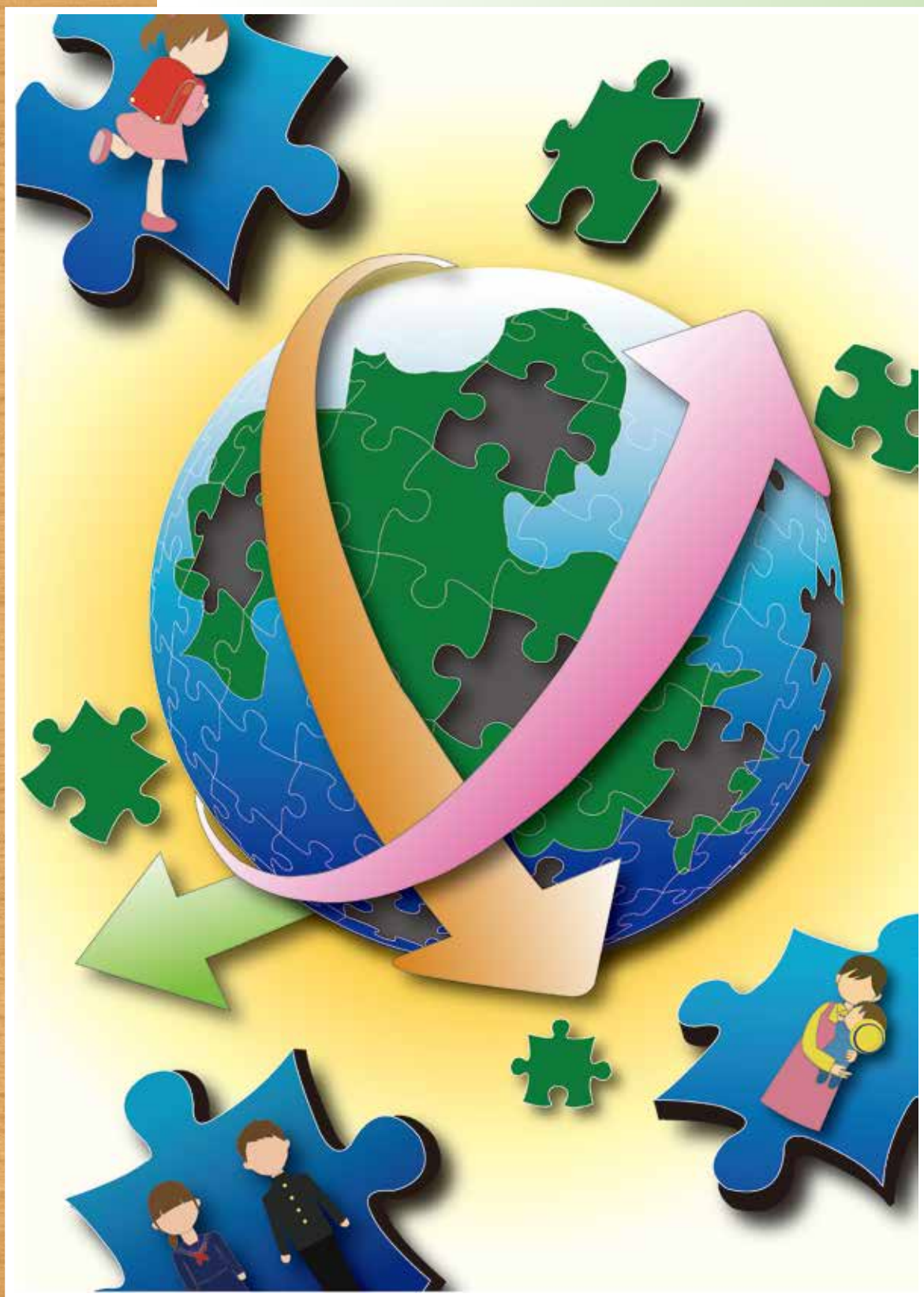


「教育県大分」創造プラン2016



2020改訂版

大分県教育委員会

令和2年3月

計画改訂の趣旨

- 次代を担う大分県の全ての子どもたちが、変化の激しい困難な時代を生き抜く力と意欲を身に付けられるよう、これまでの教育改革の流れを継承し、更なる高みを目指して不断的な努力を継続することで「教育県大分」の創造を目指して平成28年3月に策定
- 教育改革の経緯や教育を取り巻く時代の要請を踏まえ、「大分県長期総合計画（安心・活力・発展プラン2015）」に合わせて令和2年3月に中間見直し

計画の性格・役割等

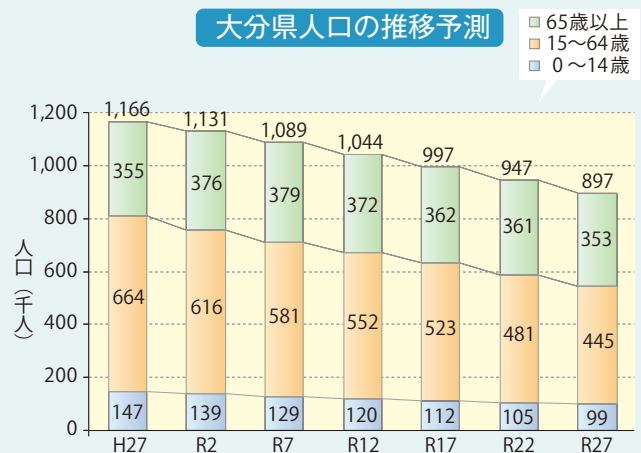
- 「大分県長期総合計画」の教育部門の実施計画
- 「大分県長期総合計画」の教育関係部分と合わせて、教育基本法第17条第2項に基づく「教育振興基本計画」
- 計画の期間：平成28（2016）年度～令和6（2024）年度〔9年間〕

教育改革の経緯

- 教育改革の背景
- 教育行政システムの改革と学校改革に向けた条件整備
- 「芯の通った学校組織」の構築による学校改革

教育を取り巻く時代の要請

- ①人口減少・少子高齢化
- ②急速な技術革新
（超スマート社会（Society5.0）の到来）
- ③グローバル化の進展
- ④自然災害や事件・事故の備え
- ⑤多様なニーズに対応した教育機会の提供
- ⑥新学習指導要領の実施
- ⑦高大接続改革
- ⑧国際スポーツ大会の日本開催



【出典】国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」

計画の基本理念

生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

▶本県の全ての子どもたちに未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせる教育を推進

基本理念の実現に向けて

▶ 「大分県長期総合計画」に基づく **8つの基本目標**の下、21の施策を計画的・総合的に推進

学校教育

基本目標 1

子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

基本目標 2

グローバル社会を生きるために必要な「**総合力**」の育成

基本目標 3

安全・安心な教育環境の確保

基本目標 4

信頼される学校づくりの推進



社会教育

基本目標 5

変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

文化財・伝統文化

基本目標 6

文化財・伝統文化の保存・活用・継承

スポーツ

基本目標 7

県民スポーツの推進

基本目標 8

世界に羽ばたく選手の育成

施策の総合的推進のために必要な視点

施策横断的な課題への対応と施策推進に向けた環境づくり

- 基盤となる人権教育
- インクルーシブ教育システム
- 地方創生の推進
- 持続可能な開発目標（SDGs）
- 学びのSTEAM化
- 県民総ぐるみの教育（学校・家庭・地域が連携・協働した取組の普及）
- 学校における働き方改革
- 新たな教育課題への対応（主権者教育、消費者教育、外国人児童生徒等への支援等）
- 子どもの貧困対策
- 県民の期待に応える教育行政（市町村教委、知事部局との連携）

最重点目標 ▶ 「全国に誇れる教育水準」の達成

◆ 学力（小6・中3）

指標1：児童生徒の学力（全国平均正答率との比）

目標値（令和6年度）小105%・中102% 【基準値（平成30年度）小102.2%・中99.8%】

◆ 体力（小5・中2）

指標2：児童生徒の体力（総合評価C以上の児童生徒の割合）

目標値（令和6年度）小男83%・小女87%・中男82%・中女92%
【基準値（平成26年度）小男75.8%・小女78.1%・中男72.0%・中女84.2%】

◆ 未来を切り拓く意欲（小6・中3）

指標3：未来を切り拓く意欲を持つ児童生徒の割合

目標値（令和6年度）小85%・中75% 【基準値（平成26年度）小74.0%・中65.7%】

◆ グローバルに活躍する力（高2）

指標4：グローバル人材として活躍するための素地を備えた生徒の割合

目標値（令和6年度）60% 【基準値（平成26年度）40%】

基本目標1 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

① 確かな学力の育成

付きたい力を意識した密度の濃い授業の追求（目指す授業像の明確化、主体的・対話的で深い学びの推進）、組織的な授業改善の推進 など

② 豊かな心の育成

人権教育、道徳教育、文化・スポーツに関する教育の充実、読書活動、体験活動の推進 など

③ 健康・体力づくりの推進

学校体育の充実（運動の習慣化・日常化、部活動改革）、学校保健の充実、食育、生活習慣の改善、むし歯予防対策の推進 など

④ 幼児教育の充実

幼児教育施設における教育力・保育力の向上、幼保小の円滑な接続の推進、関係機関と連携した子育て支援の充実 など

⑤ 進学力・就職力の向上

高大接続改革を見据えた授業改善、SGH等先進的取組の波及、専門学科の充実、地域産業界との連携強化、キャリア教育の充実 など

⑥ 特別支援教育の充実

障がいのある子どもの教育環境の整備、教職員の専門性向上、きめ細かな指導の充実、進学・就労支援体制の強化 など

⑦ 時代の変化を見据えた教育の展開

ICT、ESD、主権者教育（自立した主権者育成）、消費者教育（責任ある消費者育成）、外国人児童生徒等支援の充実、先端技術活用の推進 など



新大分スタンダードに基づく授業



タブレット型端末を活かした授業

指標例▶話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている児童生徒の割合
目標値（令和6年度）小80%・中80%

基準値（平成26年度）小64.4%・50.7%

基本目標2 グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成

世界に挑戦し、多様な価値観を持つ人々と協働していくための基盤となる5つの力の「総合力」の育成



イングリッシュ・デイ・キャンプ

指標例▶高校在学中に、外国人とコミュニケーションを図った経験がある生徒の割合（高3） 目標値（令和6年度）50%

1 いじめ対策の充実・強化

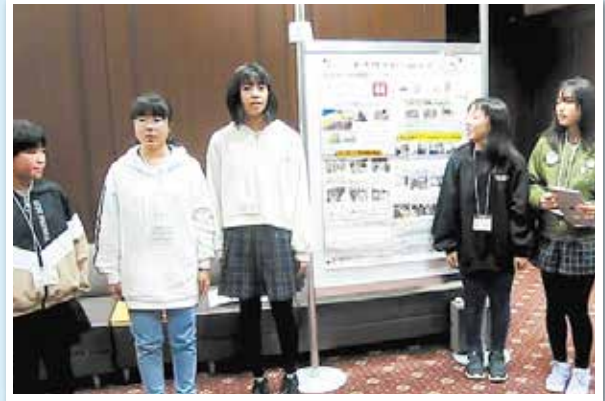
未然防止対策の充実、早期発見・早期対応の徹底、関係機関等と連携した支援の充実・強化 など

2 不登校対策等の充実・強化

未然防止対策の充実、早期発見・早期対応の徹底、学校復帰・社会的自立等に向けた支援の充実 など

3 安全・安心な学校づくりの推進

実践的な防災教育・防災対策の推進、地域と連携した子どもの安全対策の充実、学校施設の整備・長寿命化等の推進 など



全国いじめ問題子どもサミット

指標例 ▶ 不登校児童生徒の出現率の全国との比 目標値 (令和6年度) 小100%・中100% 基準値(平成30年度)小104.3%・中107.1% ※数値 (%) が下がる方がよい指標

1 「芯の通った学校組織」の取組の深化

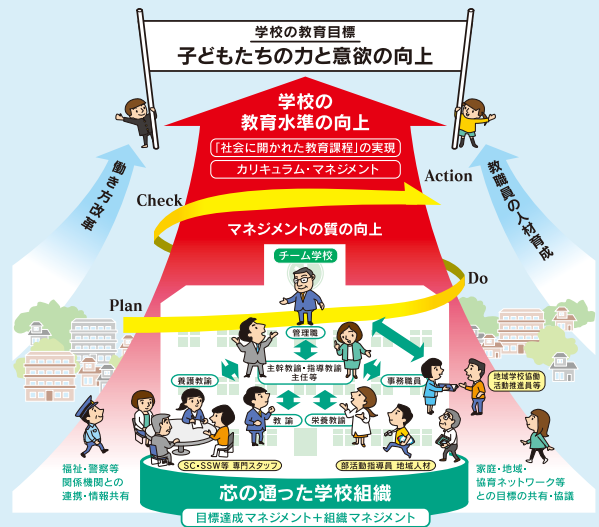
学校マネジメントの徹底・強化、教育課題の解決に向けた組織的な取組深化、CSの普及等、地域とともにある学校づくり など

2 教職員の意識改革と資質能力の向上

人材の確保・養成、適材適所の配置、学校における働き方改革の推進、健康の保持・増進、服務規律の徹底 など

3 魅力ある高等学校づくりの推進

進学・就職を見据えた高等学校の質の向上、地域ニーズを踏まえ地域の活力ともなる特色ある高等学校づくり、修学支援 など



指標例 ▶ 学校評価に基づく改善策に関する家庭・地域との協議の実施率 (小・中学校) 目標値 (令和6年度) 100% 基準値(平成25年度)14.9%

1 多様な学習活動への支援

ライフステージに応じた多様な学習機会の提供、地域人材の育成、多様な学びを支える環境づくり、人権意識を高める学習 など

2 社会全体の「協育」力の向上

「協育」ネットワークの充実・深化、「協育」力を活かした地域活動の展開 など

3 コミュニティの協働による家庭教育支援の推進

家庭教育支援体制の整備、保護者に対する学習機会の提供 など



地域の参画・協働による子どもの体験活動

指標例 ▶ 「協育」ネットワークの取組に参加する地域住民の数 目標値 (令和6年度) 11万人 基準値(平成26年度)7.8万人

基本目標6 文化財・伝統文化の保存・活用・継承

文化財・伝統文化

文化財・伝統文化の保存

指定・選定・登録制度の活用、文化財保存活用大綱・地域計画の策定、防犯防災対策の強化等

文化財・伝統文化の活用

文化財の修復現場の公開、「日本遺産」等の活用、埋蔵文化財センターの展示内容充実等

文化財・伝統文化の継承

学ぶ機会の充実（訪問講座や体験学習の充実）、後継者育成や継承に向けた基盤整備（デジタル・アーカイブ化や最新映像技術等を活用した情報発信）



文化財の修復現場の公開

指標例▶文化財の保存・活用に関する市町村の地域計画の策定数 目標値（令和6年度）18件

基準値（平成30年度）0件

基本目標7 県民スポーツの推進

スポーツ

① 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成

ライフステージに応じたスポーツの推進、総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用 など

② 県民スポーツを支える環境づくりの推進

「みる」「ささえる」スポーツイベントの充実、スポーツ施設の整備・充実、スポーツ指導者の養成・確保 など



総合型地域スポーツクラブ ラグビー体験教室

指標例▶成人の週1回以上のスポーツ実施率 目標値（令和6年度）56%

基準値（平成25年度）40.5%

基本目標8 世界に羽ばたく選手の育成

スポーツ

ジュニア期からの一貫指導体制の確立

優れた資質を有するジュニア選手の発掘、小・中・高等学校を通じた一貫指導体制の確立による効果的な育成・強化

優秀選手の育成・強化

国内外の大会参加支援、トップレベルの指導者やチームの招聘、競技力向上の拠点となる学校・企業等の支援充実

競技力を支える人材養成と環境整備

高度な専門知識や指導技術を有する指導者の養成・確保、スポーツドクター・栄養士等によるサポート体制の整備・充実、次代を担う指導者の異競技間等交流の促進、優秀選手の県内企業への就職支援、スポーツ医科学の活用等



ジュニア選手発掘の取組

指標例▶国際大会出場者数 目標値（令和6年度）60人

基準値（平成26年度）35人

表紙 題名 「育てよう。私たちの町」

作者 鶴崎工業高等学校 3年(当時) 増田 望織

お問い合わせ先

大分県教育委員会 教育改革・企画課

〒870-8503 大分市府内町3丁目10番1号

TEL 097-536-1111（内線5430） FAX 097-506-1791

H P <http://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/>



11月1日は大分教育の日
「手をつなぎ広げていこう 教育の輪」